

1. 企業プロフィール

会社概要

商 号：三ツ星ベルト株式会社
Mitsuboshi Belting Ltd.

創 業：1919年(大正8年)10月10日

資 本 金：81億5,025万1,031円

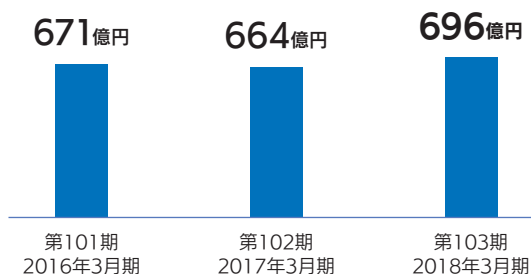
従業員数：4,263人(単体 711人)
(2018年3月31日現在)

営業品目

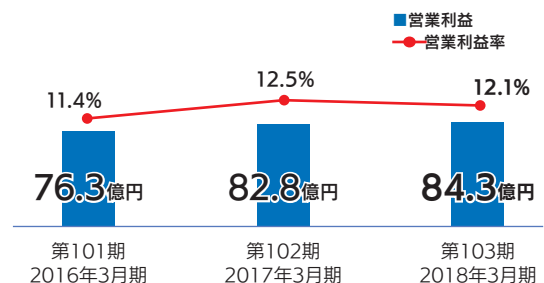
- 伝動ベルト及び関連機器
- 搬送ベルト及びシステム・関連製品
- エンジニアリングプラスチック
- 発泡射出成形品(エンジニアリングストラクチャルフォーム)
- 防水・遮水材
- 金属ナノ粒子関連製品

財務ハイライト

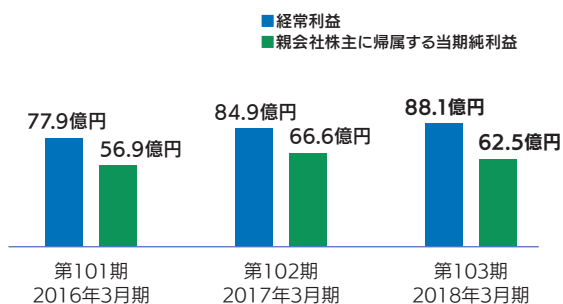
■ 売上高



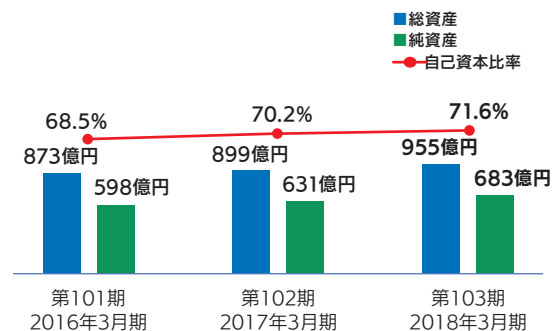
■ 営業利益・営業利益率



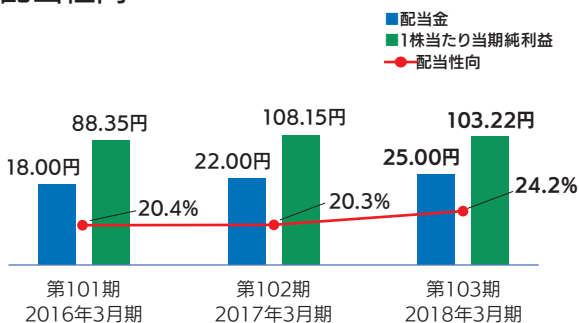
■ 経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益



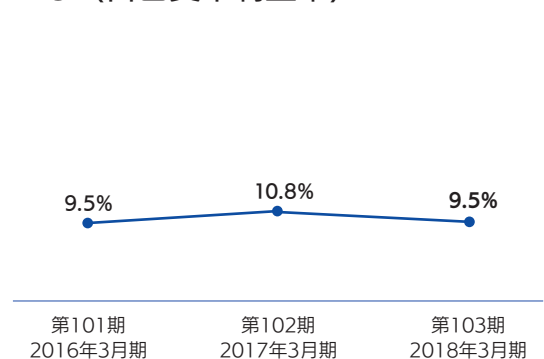
■ 総資産・純資産・自己資本比率



■ 配当金・1株あたり当期純利益・配当性向



■ ROE(自己資本利益率)



国内ベルト事業

売上高 280億37百万円

営業利益 73億13百万円

日本国内でのベルト(※)の製造・販売事業です。
(※) 伝動・搬送ベルト、金属製品、樹脂製品



高い伝動容量を備えたギガトルクGX

海外ベルト事業

売上高 319億74百万円

営業利益 34億34百万円

海外での伝動ベルトの製造・販売事業です。



マルチ(結合)タイプのラップドVベルト

建設資材事業

売上高 48億54百万円

営業利益 1億25百万円

建築用防水材・土木用遮水材の製造・販売事業です。



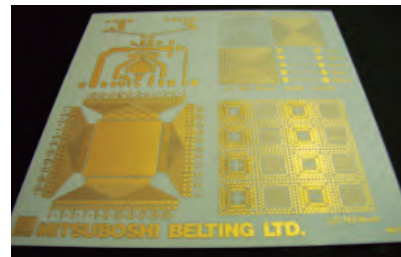
処分場で使用されている遮水シート

その他

売上高 47億27百万円

営業利益 1億86百万円

エンジニアリングストラクチャルフォーム、金属ナノ粒子を応用した新製品の製造・販売、ならびに仕入商品等の販売事業です。



銅ペーストを用いた回路基板

売上高構成比

その他

47億27百万円

建設資材事業

48億54百万円

海外ベルト事業

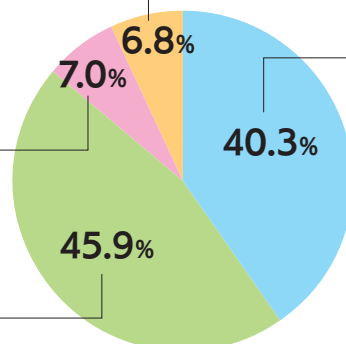
319億74百万円

国内ベルト事業

280億37百万円

売上高合計

695億94百万円



人を想い、地球を想う

それは、三ツ星ベルトが未来に託す願いです

確かな技術力が実現する
高機能・高精密・高品質。

環境問題への全社的取り組みで
実現した「ISO 14001」認証取得



神戸市向洋小学校のトンボ池

「ISO 9001」「IATF16949」は
世界的な品質基準。三ツ星ベルトは
数々の認証を取得しています。

三ツ星ベルトグループは、各種製品で世界トップ
レベルの品質システム向上のため、ISO 9001、
IATF16949の認証取得を推進しています。

また、世界的に環境保全の充実が求められるなか
「人を想い、地球を想う」の基本理念のもと、ISO
14001（環境マネジメントシステム）の認証をも
取得しています。





代表取締役会長



代表取締役社長

西河 紀男

垣内 一

工業用のベルト専門メーカーとして1919年神戸で創業。たゆまぬ研究と開発を重ねて、業界のリーディングカンパニーへと成長しました。防水・遮水材、エンジニアリングプラスチックなどに業容を拡大した今も「品質を作り、品質を売る」という創業の精神は連綿として受け継がれ、ユーザーから厚い信頼をいただいています。人々の生活と産業の発展を支える三ツ星ベルトの高品質製品群。グローバル化が進みボーダーレスになって価値観が変わったとしても、三ツ星ベルトが品質にこだわる姿勢は変わりません。品質保証に関していえば、世界でも特に厳しいといわれるIATF16949・ISO/TS16949の認証を内外の工場で取得する一方、各種製品でISO9001の認証を取得。また、ISO14001は国内主力工場で取得するとともに、地球にやさしい製品の開発にも積極的に取り組んでいます。三ツ星ベルトは「高機能・高精密・高品質な製品の提供を通して社会に貢献する」を「経営基本方針」にかかげ、「人を想い、地球を想う」の基本理念のもと、人と社会に貢献してまいります。

三ツ星ベルトは 先進の発想と技術で 人と地球の 豊かな21世紀を創ります。

モノや情報があふれる現代社会。20世紀は人々が豊かさを手にした時代だといえます。工業用ベルトをはじめとするモノづくりを進めてきた三ツ星ベルトも、さまざまなカタチで時代に貢献してきました。そして21世紀の「いま」、私たちの暮らしや身近な自然には、環境破壊の波が押し寄せています。未来への不安、危機感…。「いま」こそ、すべての人々が「人と地球の在り方」を、真剣に考えなければならないときです。この大切な「いま」に三ツ星ベルトは「人と地球」という視点から、「技術の方向性」「製品の役割」を見つめ直します。「人を想い、地球を想う」という基本理念のもとに、先進の発想と「高機能・高精密・高品質」を提供する高度な技術力の追求によってより快適で豊かな未来を目指します。

経営方針

当社は、次世代の産業分野のニーズに対応できる製品づくりの観点から「高機能、高精度、高品質な製品の提供を通して社会に貢献する」ことを「経営基本方針」とし、また、社員一人ひとりが「今日に誇りを持ち、明日に希望を託し行動する」を社訓とします。さらに、人にも地球にも優しい「人を想い、地球を想う」を基本理念と定め、当社グループ全体が社会の発展とともに共存共栄していくことを指針とします。

社 訓 今日に誇りを持ち、明日に希望を託し行動する

基 本 理 念 人を想い、地球を想う

経営基本方針 高機能、高精度、高品質な製品の提供を通して社会に貢献する

経営戦略

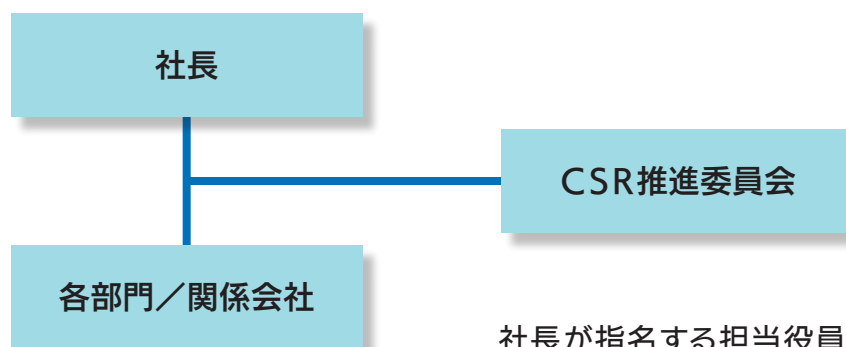
- 世界に通用する財務体質づくりを目指し、一層の体質強化を図ります。
- 世界的な技術競争に対応するために、研究開発体制、技術力の強化を図ります。
- 次世代を見定め、ユーザニーズに対応した高機能、高精度、高品質な製品を生産できるシステムの確立を推進します。
- 世界的なコスト競争力に対応するために、世界最適生産体制の確立とコスト競争力のある体質づくりを目指します。
- 生産、販売及び物流体制の強化を図ります。
- 人材の確保と育成を図るため、新卒社員の採用並びに専門的知識と経験の豊富な人材の通年採用を積極的にすすめます。
- 地球規模の視野に立った環境保全活動を行い、社会に貢献いたします。

CSRを推進するために

◆基本方針

三ツ星ベルトグループのCSR活動は、「人を想い、地球を想う」の基本理念のもと、先進の発想と「高機能・高精密・高品質」を提供する高度な技術力の追求によって当社グループを取り巻くステークホルダー（株主・顧客・従業員・地域社会等）との共生を図り、継続して人と社会に貢献することで、快適で豊かな未来を目指してまいります。

◆CSR推進体制



社長が指名する担当役員を委員長とする「CSR推進委員会」を設置し、CSR基本方針に基づき具体的な活動計画を策定し推進してまいります。

◆CSR報告書の編集方針

三ツ星ベルトグループは、経営方針やCSR に対する考え方・推進体制・活動内容をわかりやすく開示し、ステークホルダー（株主・顧客・従業員・地域社会等）の方々とのコミュニケーションを図ることを目的に、毎年「CSR 報告書」を発行しています。